

| 科目名   | 開講時期   | 必修・選択 | 科目区分 | 単位（時間）    | 科目責任者    |
|---|--|-------|------|-----------|----------|
| 看護マネジメント実践演習  | 4年次 前期   | 必修    | 演習   | 1単位（30時間） | 霜垣 美由紀 ※ |
| 授 業 概 要   |  |       |      |           |          |
| 看護職は専門職であり、看護を必要とする人々に対し実施されるケアは、さまざまな組織の中で個々の力が一体となり機能している。看護組織におけるマネジメントとは、組織成員の個々に持つ力を最大限に発揮することや協働することで、看護の質や人材育成にもつながる。実践演習では、各看護学で学んだ知識と技術を統合し夜勤帯を含めた臨床現場を想定し、チームで活動しながら、自己の役割を認識し協力し合いながら課題の達成を目指す。また現場における1日のスケジュールから看護管理の視点を捉え、看護マネジメント実習に向け、優先順位の判断や、対象への看護ケアマネジメントに繋げるための看護チームで連携・協働することの重要性と実践力を養う。 |  |       |      |           |          |
| 到 達 目 標   |  |       |      |           |          |
| <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 社会人基礎力の必要性を理解する。</li> <li>2. 自己の役割を認識し、チームで協力し学び合いながら課題に取り組む。</li> <li>3. 1日の流れを看護管理の視点で理解する。</li> <li>4. 夜勤帯から引き継ぎ状況判断しながら看護実践する。</li> <li>5. チームリーダーおよびメンバーのあり方を考え、チーム活動できる。</li> <li>6. 課題達成状況と課題達成までのプロセスを振り返り、自己の行動傾向を明確化する。</li> </ol>                          |  |       |      |           |          |
| 実務経験のある教員   |  |       |      |           |          |
| 霜垣 美由紀：臨床現場での経験をふまえ、看護実践現場における看護マネジメントを演習を通して教授する。  |  |       |      |           |          |
| 回   | 学 習 内 容  |       |      |           | 担当教員     |
| 1-2   | <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事例演習に向け必要な知識と自己課題 <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 看護実践能力に必要な4つの力</li> <li>2) 能力行動特性（コンピテンシー）の自己評価</li> </ol> </li> </ol>   |       |      |           | 霜垣 美由紀 ※ |
| 3-7   | <ol style="list-style-type: none"> <li>2. 複雑な看護現場から看護管理を考える（事例演習） <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 病棟における1日のスケジュールを管理の視点でとらえるための演習</li> <li>2) 看護マネジメントプロセス</li> </ol> </li> </ol>  |       |      |           |          |
| 8-10  | <ol style="list-style-type: none"> <li>3. 夜勤帯ラウンド演習（事例演習） <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 夜間における観察や看護援助の実践</li> <li>2) 患者役となり患者の理解</li> </ol> </li> </ol>  |       |      |           |          |
| 11-15   | <ol style="list-style-type: none"> <li>4. チームで協働し看護を実践する（事例演習：複数患者の受け持ち） <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 夜勤からの引継ぎ</li> <li>2) 臨床判断を行うための基礎的能力を基に看護実践する</li> <li>3) PNS看護方式を活用し看護計画・臨床判断しながら看護実践する</li> <li>5) 対象理解し優先順位の判断と看護ケアマネジメントの実践・振り返り</li> <li>6) 課題達成に向けたチーム活動を振り返り自己の行動傾向を明確化する</li> </ol> </li> </ol> |       |      |           |          |
| 学 習 方 法   |  |       |      |           |          |
| 講義、演習（シミュレーション）   |  |       |      |           |          |
| 評 価 方 法   |  |       |      |           |          |
| 演習参加（グループ活動による達成評価）、レポート  |  |       |      |           |          |
| 先 修 科 目   |  |       |      |           |          |
| なし  |  |       |      |           |          |
| 教科書、参考書   |  |       |      |           |          |
| <p>〔教科書〕</p> <p>系統看護学講座 統合分野 看護の統合と実践[1] 看護管理 上泉和子他 医学書院</p> <p>〔参考書〕</p> <p>看護管理学, 自立し協働する専門職の看護マネジメントスキル 改訂第2版 手島恵他 南江堂<br/> 学習課題とクイズで学ぶ看護マネジメント入門 第2版 原玲子 日本看護協会出版会</p>  |  |       |      |           |          |